

2023（令和5）年度 教職課程・保育士養成課程委員会 FD 研修会報告

【テーマ】「障害のある学生への対応について」

【講師】小田浩伸 氏

大阪大谷大学教育学部長、特別支援教育実践研究センター長、障がい学生支援室長

【日時】2月20日 10時30分～12時

【会場】3716 教室（対面形式で実施）

大阪大谷大学教育学部長として、学校心理士 SV・心理リハビリテーション SV・特別支援教育士 SV・ガイダンスカウンセラーなどの資格をお持ちの特別支援教育の専門家である小田浩伸先生を招聘し、「障害のある学生への対応について」と題して研修が行われ、本学教職員 48 名が参加しました。

研修会では、大学における障がいのある学生への支援と合理的配慮について説明いただき、障がい学生が直面する「生きにくさ」を軽減し、能力を最大限に発揮できる環境を整えることについて解説いただきました。

合理的配慮は、障がいのある学生が他の学生と同等の機会を得るために必要な変更や調整を意味し、個人や場面によって異なるが、不均衡な負担を求めるものではなく、学生、保護者、教員、支援コーディネーターが協力して合意形成を図ることが重要であるとのことでした。

終了後参加者から、「具体例が豊富でわかりやすく、大変勉強になった。」「個別的配慮とユニバーサルデザインを丁寧に進めていきたいと感じた。」「私立大学での合理的配慮の提供義務化により、大学としての体制作りが急務であると実感した。」などの意見があり、合理的配慮について考える機会となる有意義な研修会となりました。

今後も研修会を開催し、教職課程・教員養成に関する質的向上を目指し全学的に取り組んでまいります。